

## “手術の待期期間に関して・・・”

現在、当院の人工関節の手術待ちは、約2ヶ月程度です。骨折などの手術と異なり、人工関節や脊椎の手術はどの病院でも緊急でやる手術ではありませんので、予定の手術枠で行ないません。ですから、専門医が手術をしている病院は、ほぼどこも1～3ヶ月程度の待期期間があります。

しかし、この待期期間は意外と重要な期間で、合併症のある患者さんなどはこの間に精密検査や治療を行なう事が出来ます。

虫歯治療や糖尿病、高血圧の薬剤調整などが可能ですし、血を貯めて手術時に自分に輸血する自己血貯血も待期期間に余裕をもって出来ますので、手術を待つ時間は少し苦痛だと思いますが、ご理解のほど、よろしくお願い致します。



## センター長の海外探訪記 “シカゴの巻”

2月に研究データを取りにアメリカのシカゴから車で3時間ほどの小さな街に出張する機会がありました。

シカゴは五大湖のミシガン湖畔にある大都市で、訪れたのは3回目ですが、仕事で他都市に移動する経路だけの滞在です。高層ビルからの夜景がキレイと聞いていたので、初めてジョン・ハンコックセンター96階のバーに行きましたが、ここからの眺めは本当に素晴らしかったです。阿倍野ハルカスにはまだ登っていませんので、どちらの夜景が良いのかは分かりませんが(+\_+)・・・。

シカゴの街中を観光する時間は無く、ぶらっと歩いただけでした。滞在日は寒くなかったのですが、私が日本に旅立った日はマイナス20度でしたので、もう一日遅かったら散歩も出来なかったかも知れませんね。

春から夏にかけてはミシガン湖クルーズなども出来るそうなので、冬以外の観光をお薦めします。



- > 人工関節に特化した「人工関節センター」と乳がん診療に特化した「プレストセンター」を開設しており、より高度な専門医療を提供しております。
- > 関節外来：岡 史朗 月・火・水曜午前9時から12時
- > 関節外来：相原雅治 水・木・金曜午前9時から12時
- > スポーツ外来：橋 優太 金曜 午後4時半から7時
- > 理学療法士：岡本浩明・樋口慧・小山晴菜
- > 受付時間：平日午前9時～11時半、午後4時半～6時半

(水曜夜診休診)

土曜午前9時～11時半 (祝日休診)

相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000  
 箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052  
 ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている方々”を応援する為、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にファックスでお伝えください。

# 「ぶらな」

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

相原病院・人工関節センター新聞  
 第13号  
 2015年7月吉日

相原病院は昨年に40周年を迎え、地元根付いたアットホームな病院として地域医療に貢献してまいりました。現在は人工関節センターとプレストセンターを中心とする専門医療に特化して6年になりますが、アットホームな雰囲気維持しつつ、最新の高度な医療を提供し続けることを常に心がけて診療にあたっております。



## “膝関節の人工関節ってどんな手術ですか？”



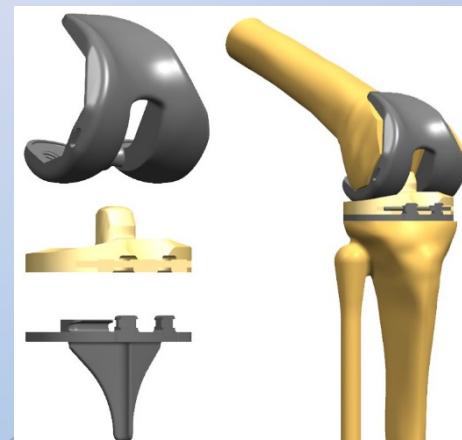
人工関節手術は日本で年間に膝が約7万5千、股関節で約5万が行われています。今回は人工膝関節の手術を簡単に説明します。

膝関節は特に内側の軟骨が削れることが多いのでO脚が進行します。歩行時、立ち上がる時や階段昇降で痛みが出て、正座が出来なくなります。徐々に杖を要し、跛行(びっこ)が目立ってきます。

原因は不明ですが、しゃがみ込む姿勢をとることの多い農耕民族はO脚になる場合が多くなると言われています。特に近年は体重増加や長寿によって関節軟骨に負担がかかり、徐々に膝の内側の軟骨が削れます。そうすると更にO脚が進み、荷重が膝の内側、つまり悪くなった軟骨への負荷が更に増えるといった、膝にとって負のスパイラルが始まります。初期には外側が高くなっている“アウトウェッジ”と呼ばれる靴のインソールを入れると体重が外側に分散されるのでお薦めしています。(靴屋さんなどで「O脚の人用のインソール」等の名称で売っています。ご希望の方には当院担当の装具業者に作成してもらえますので、外来でご相談ください。)

手術は悪くなった関節の表面を切り取り、靭帯のバランスを整え、関節表面を金属(コバルト・クロム合金)と特殊なポリエチレンに置き換える手術で、約2時間程度で終わります。入院期間も約3週程度です。

術後は正座は出来ませんが、歩行や階段昇降はかなり楽になります。膝の痛みでお悩みの方は、外来でご相談下さい。



## 近隣病院の人工関節手術数 (平成24年度)

病院名	症例数
相原病院 (H26年)	192
(H25年)	172
(H24年)	142
箕面市立病院	32
市立豊中病院	97
市立池田病院	95
国立刀根山病院	9
宝塚市立病院	36
大阪医科大学病院	109
済生会千里病院	85
北野病院	114
北大阪警察病院	36
済生会吹田病院	101



## “ライブサージェリーを行ないました。” センター長 相原 雅治

手術や内視鏡、カテーテル検査など医療者側の技術向上は、治療効率の向上と合併症軽減の為に必要不可欠なものです。その方法となると直接上級医からテクニックを学ぶ以外に、模型やビデオでの学習などがあります。勿論、いい上司に恵まれて直接テクニックを学べる医師もいれば、恵まれた環境に当たらない医師もいます。いずれにせよ、各学会やセミナー等で最新の知識や技術を学ぶのですが、そこで行なわれる講習は写真やビデオを使用するのが一般的です。私も全国の関節外科医が集まるセミナーや学会講師を幾度となくさせて頂く機会がありました。しかし、先日依頼のきたセミナーはテレビカメラで手術画像をリアルタイムでセミナー会場に流し、手術を行ないながら手技のメリット、コツや注意点を伝え、会場からの質問にも答えながら手術を行なう手術の実況中継「ライブサージェリー」でした。

今までも当センターは関節外科医が来られ、一緒に手術を行ないながら手術手技の講習を行う「ラーニングセンター」として関西のみならず関東などからも医師を受け入れてきましたが、さすがにライブは荷が重かったのでお断りをしていましたが、他に受け入れ可能な施設が見付からなかったとの事で最終的にお受けしました。



その日に向けてカメラアングルや画像調整の予行演習など多くの準備を行いました。セミナー会場は福岡でしたので前日に衛星中継車が駐車場に入り、医局は放送局の様に多くの機材に埋め尽くされていました。(左下写真)

手術そのものは、問題なく順調に進み福岡の会場にいる国内と海外から参加の100名を超える整形外科医や関係者の方々にはライブサージェリーの画像は好評の様でしたが、テレビカメラに視野を確保させるため、実際に手術をしている私と岡先生はのけ反りながらの手術で、会場からの質問(日本語&英語)に答えながら、時間内に手術をパーフェクトに終わらせた時には、手術場の看護師ともどもフラフラになりました。しかし、休む間もなく私は岡先生に術後管理をお願いして、福岡に飛び後半からセミナー参加とハードな週末となりましたが、会場ではライブで手術を見た医師の方々から「手術のコツが良く分かった」「細かいところまで良く見えて、理解し易かった」など、お褒めの言葉を頂き、その疲れも吹っ飛びました。

これからも、常に新しい知識、手技や経験を積んで、皆さんに最善の医療を提供できるように、人工関節センターのメンバーはチーム一丸となって日々努力をしております。



## 1<sup>ST</sup> M.O.R.E. JAPANESE シンポジウム Advances in Orthopaedics



### HONORARY CHAIRMAN

秋月 章, M.D.  
JA長野厚生連 長野松代総合病院

### CHAIRMAN OF THE HIP DAY

Dr. Frédéric Laude  
CMC Paris V, Paris, France  
大園 健二, M.D.  
関西ろうさい病院

### INVITED FACULTY

相原 雅治, M.D. - 相原病院  
Prof. Dr. med. Claudio Dora - Uniklinik Balgrist University, Zürich, Switzerland  
江本 玄, M.D. - 江本ニードスポーツクリニック  
Tyler D. Goldberg, MD - Texas Orthopaedics, Austin, USA  
Prof. Philippe Hermigou - University Paris XII, Paris, France  
Hiroshi Horiuchi, MD - Nagano-Matsushiro General Hospital, Nagano, Japan  
Dr. Luc Kerboull - Clinique Arago 2, Paris, France  
小林 章郎, M.D. - 松下会白庭病院  
Dr. Andrew Leicester - Bowral and District Hospital, Bowral, Australia  
Dr. Arash Nabavi - Campbelltown Private Hospital, Sydney, Australia